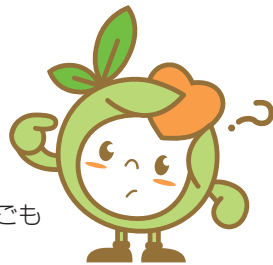


# 未来の芽



「苗木のホームステイ」のクヌギやコナラたちは、葉を枯らして、冬ごもりしています。

冬ごもりしているクヌギやコナラをよく見てみると、春に茎を伸ばし、葉を拓げるために芽をつけています。さらによく見てみると、その芽は魚のうろこのようなもので覆われています。コナラの茎のてっぺんでは、大きな芽の周りに

## コナラの芽

魚のうろこのようなもの  
芽鱗(がりん)

若い茎なので  
毛が生えています



てっぺんの大きな芽  
頂芽(ちようが)

周りの芽  
頂性側芽(ちようせいそくが)

葉の落ちた跡  
葉痕(ようこん)

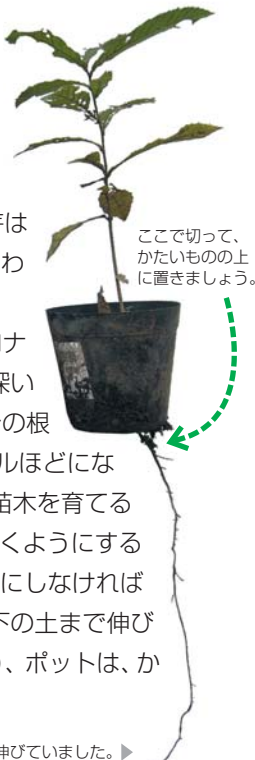
小さな芽が並んでくっついていて、冬ごもりしている樹木はとてもさみしく見えますが、小さな芽にも様々な工夫がしてあり、冬の寒さを乗り切って暖かい春を迎えるためにがんばっています。

冬ごもりしている間も、根や茎や芽は生きていますので、土が乾ききってしまったように水やりを続けます。

「苗木のホームステイ」のクヌギ、コナラ、シラカシは、太い根を、まっすぐ深いところまで伸ばす習性があります。その根は、長いものだと、1年目で1メートルほどになることもあります。しかし、ポットで苗木を育てるときには、植える時にしっかりと根付くようにするために、細い根がたくさん生えるようにしなければなりません。そのためには、ポットの下の方まで伸びている太い根を、暖くなる前に切り、ポットは、かたいものの上に置くようにします。

ポットの下の方まで根が伸びていました。▶

## クヌギの根



ここで切って、かたいものの上に置きましょう。

このコーナーでは、「苗木のホームステイ」の様子についてお伝えしていきます。

## (財)かながわトラストみどり財団のイベントについて

### 「森林ハイク」参加者募集

(財)かながわトラストみどり財団では、県内の森林の実態に触れ、森林への理解を深めていただくために「森林ハイク」を下記のとおり開催します。

軽い山歩きのできる方ならどなたでも参加できますのでふるってご応募ください。

### 開催概要

- 〈日 時〉平成21年5月31日(日) 9:30~15:30(予定)
- 〈場 所〉真鶴半島の森林(巨木の茂る魚つき保安林で初夏を満喫)
- 〈集 合〉JR東海道線「真鶴駅」改札前 9時30分
- 〈講 師〉かながわ森林インストラクターの会会員
- 〈定 員〉100名(応募多数の場合は抽選)
- 〈申込み〉住所、氏名、電話番号、参加人数を往復葉書で下記まで。  
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20  
(財)かながわトラストみどり財団  
電話:045-412-2525 FAX:045-412-2300

## 第61回全国植樹祭基本計画が決定されました。

2月18日に、衆議院議長公邸で開催された社団法人国土緑化推進機構(会長・河野衆議院議長)の全国植樹祭特別委員会において第61回全国植樹祭基本計画が承認されました。

今後、この計画に基づき、大会開催に向けて万全の準備を図ってまいります。

※基本計画は、ホームページからダウンロードできます。



国土緑化推進機構 特別委員会の様子

### お問い合わせはこちらまで

第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会事務局  
(神奈川県環境農政部森林課全国植樹祭推進室内)  
〒231-8588 神奈川県横浜市中央区日本大通1  
TEL:045-210-4373 FAX:045-210-8855  
URL:<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sinrin/zensyoku/index.html>

## 全国植樹祭だより

# かながわ未来の森

第5号  
平成21年3月



一足先に体験しませんか! 全国植樹祭

## 第61回全国植樹祭 かながわプレ大会2009開催!!



全国植樹祭の大漁旗(県庁新庁舎ロビーで展示中です。)

## 緑の祭典”かながわ未来の森づくり”

第2回 秦野市植樹祭

第1回 南足柄市民植樹祭

平成22年春季に本県で開催する第61回全国植樹祭を、県民の皆さまと一緒に盛り上げていくため、全国植樹祭の大会会場となる秦野市と南足柄市で、プレ全国植樹祭を開催します。

開催日 平成21年5月24日(日)

秦野会場

〈会場〉秦野戸川公園地区(式典・植樹)  
〈時間〉9:00~15:30

南足柄会場

〈会場〉足柄森林公園丸太の森地区(式典)  
南足柄市塚原地区(植樹)足柄林道沿い  
〈時間〉8:00~12:30

※式典会場への入場は自由です。(記念植樹は3月31日までに申し込みください。)



神奈川からCO2削減を呼びかけ「クール」な地球を取り戻そうという、地域から「地球復興」を目指す『クールネッサンス宣言』のロゴマーク



古紙配合率100%再生紙を使用しています

# プレ全国植樹祭とは…



プレ全国植樹祭は、平成22年春季に神奈川県で開催する第61回全国植樹祭を、多くの県民の皆さまに知っていただき、一緒に開催に向かって機運を盛り上げて行きたいという思いを込めて、全国植樹祭の概ね1年前にあたる平成21年5月24日に開催するものです。



秦野会場



南足柄会場

## ● 記念植樹に参加するには申し込みが必要です

1 かなりんちゃんコース [定員:20人]

南足柄植樹 ▶ 南足柄会場見学 ▶ 秦野式典

2 丹沢のぼる君コース [定員:100人]

秦野植樹 ▶ 秦野式典

3 キンタローさんコース [定員:20人]

南足柄式典 ▶ 南足柄植樹

対象 ● 県内に在住か在勤・在学の方  
(中学生以下は20歳以上の方向伴)

申込み ● 往復はがきにコース名(第3希望まで)と全員の郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、3月31日までに県森林課全国植樹祭推進室 〒231-8588(所在地省略)へ。

※集合時間等詳しい内容は、返信はがきでお知らせします。介助等が必要な場合はお問い合わせください。

※秦野市・南足柄市でも市民を対象に参加者募集中です。

## 〈全国植樹祭の開催理由〉

第61回全国植樹祭は、50年後の神奈川の森林の新しい姿を県民全体で共有し、協働して取り組む本県の森林再生を、全国に発信しながら、さらに前進させる大きな節目として開催するものです。

## ● 当日のスケジュール(予定)

	秦野会場	南足柄会場
記念植樹	9:00頃～	8:00頃～
記念式典	11:00～	9:30～
ブース設置	9:30頃～	8:30頃～

※体験・参加型イベント、特産品販売、パネル展示等のブースを設置する予定です。

## ● アトラクション盛りだくさんでお待ちしています

当日は、神奈川県環境大使の白井貴子さんの出演や、地元の学生・市民グループ団体などによる音楽や踊りなどの披露に加え、体験・参加型イベントや特産品販売のブースなどを設置して、皆さまのご参加をお待ちしております。

式典会場への入場は自由です。  
(記念植樹は3月31日までに申し込みください。)

## アトラクション内容(予定)



環境大使 白井貴子さん



秦野観光和太鼓



丹沢アルプホルンクラブ



秦野市合唱連盟(丹沢賛歌の合唱)



足柄ささら踊り



南足柄市立岡本中学校吹奏楽部



足柄四人衆  
(地元ゆかりのキャラクターによる劇)

## My 森林物語

# ハンディ・キャップのある方々との森林教室を開催して

NPO法人丹沢森の仲間たち 理事 川又 正人

私は山北町で林業をしておりますかたわら、NPO法人丹沢森の仲間たちの事務局長をしております。私たちNPO法人



目隠ししての疑似体験



タケの食器作り

は、森林を通じてすべての人と森林の恵みを分かち合おうという思いのもとに10年前に結成しました。その間、月例研究会の開催、手入れ不足の森林の整備、森林教室の開催、他の団体との連携等を深めてきました。

森林教室は、今までに50回を超えて開催してきましたが毎回健常者が対象でした。ハンディ・キャップのある方々との森林教室の開催についてはスタッフに戸惑いがあり、会の年間計画には載るの

ですがなかなか実現できないでいました。今回の視覚にハンディ・キャップのある方々との森林教室の開催は、神奈川県補助金を受けたのも大きな後押しになりました。また、山北町の社会福祉協議会のご協力を得、誘



ようこそおいでくださいました

筆者のご紹介 NPO法人丹沢森の仲間たち理事・事務局長。林業を経営される一方、県知事が認定する「指導林家」として、地域の林業者や林業後継者等の育成にご尽力されています。国や県の森林インストラクターとして、ボランティア参加者の指導をされ、自ら丹沢湖畔に体験フィールドを開設し子ども達に自然環境教育を実践されています。神奈川地球環境賞を受賞され、県丹沢大山総合調査委員を歴任なさるなど、実際に現場に立つ林業家として、丹沢の再生と水源の森林を守るために活動されています。



導のためのガイダンスを事前に開催して備えることが出来ました。

今回の森林教室で感動したのは我々スタッフの方でした。何でも見てやろう何でも触ってやろうという参加者の意気込みに圧倒されながら、正確な言葉で正確な位置を明示し、正しく状況を伝えることの難しさを知らされました。スタッフの説明にも一心に耳を傾けていただきありがたく思いました。また我々スタッフを信頼して下さっていることがひしひしと伝わり、こんなにも充実し達成感のある森林教室を開催できることは予想もしなかったことでした。

私たちは水源地森林の現状を知り、森林の整備や森林のモニタリング等を通じて水源林の働きを高めなければなりません。そして、丹沢の森林の恵みを等しく享受することは、ハンディ・キャップの有無に関わらず必要且つ大切なことです。

興奮の冷めやらぬ反省会では、普段何気なく使っている日本語の使い方、指示の不適切さ等が課題として挙げられました。そして参加者の確かな手応えに触発され来年度も是非開催したいという圧倒的な声で閉会しました。



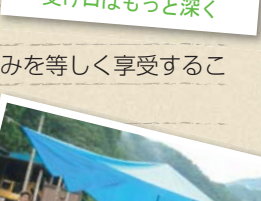
鏡は引いて伐ります



事前誘導ガイダンス



受け口はもっと深く



雨までが歓迎してくれました

このコーナーでは、県内で森林を支える方々のインタビュー・活動等をお伝えしていきます。



## 一人一人が緑を大切に

のぞき きょうへい  
相模原市みどりの少年団 野崎 恭平  
(鹿島台小学校6年生)

みどりの少年団で、植樹祭に行った。始めに雑草を抜いてから、木を植えた。

相模原麻溝公園で、クレマチスフェアに参加して花の苗を配ったりして、多くの人によるこんでもらった。その公園はとてもきれいに花や木が植えられている。そういえば、前に家族で公園に行った時、沢山の大人の人が花を植えかえたり、きれいにしていたのを見た。見てきれいだな、と思うけど大変なこといっぱいある。僕はみどりの少年

団活動を通して、地球に緑が沢山あって、みんながいつも気持ちよく、優しい心になったらいいなと思った。

僕は鶴野森自治会盆踊り大会では、来た人にお花の苗を配って、「大切に育てて下さい。」と呼びかけた。一学期に一度、いつも通る通学路をみんなで掃除する。一緒に活動をする古淵子ども会の少年団は境川の清掃をしている。一人でも沢山の人たちで、自然を大切にしていけるといいと思う。

このコーナーでは、県内の「緑の少年団」の子どもたちの活動などをお伝えしていきます。